

平成26年度 下京区運営の総括表

1 下京区基本計画に基づく着実なまちづくりの推進のために

テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅰ-① 健やかな暮らしを 地域力で育む	絵本から広がる笑顔の輪 【新規】	「だいすきっ！京都・寄付金」を活用し、区内9小学校の児童を対象に、地域のボランティアなどの方々の協力を得て、大型絵本の読み聞かせや交流などを実施することにより、すべての児童が楽しく学校生活を送るとともに、心豊かな思いやりのある児童となるよう地域ぐるみで支援します。	平成25年度のふるさと納税寄付金を、「地域の子どもたちのために活用してほしい」という寄付者のご意向を踏まえ、学校とも協議を重ねたうえで、区内全小学校に大型絵本や紙芝居を贈呈。地域のボランティアなどの方々による協力を得て、児童に読み聞かせを実施した。 以下の日程で「お披露目会」を開催した後も、各小学校において「朝の読み聞かせ」などの時間を活用しながら、読み聞かせを行っている。 ・「お披露目会」を実施 9月10日(水) 下京渉成小 2年生 44人 9月24日(水) 下京渉成小 1年～3年生 50人 10月7日(火) 淳風小 1年生 16人 10月7日(火) 醒泉小 2年生 22人 10月17日(金) 光徳小 3年～5年生、育成学級 73人 10月22日(水) 七条小 1年生 94人 11月15日(土) 西大路小 1年～2年生 12人 11月21日(金) 洛央小 1年～2年生 36人 11月22日(土) 七条第三小 1年～6年生 27人 12月3日(水) 梅小路小 1年～2年生、育成学級 75人 (合計449人)	参加した児童たちからは、「自分で読むより、地域の方に読んでもらった方が物語の世界が広がる」といった感想があり、好評であった。	地域力推進室
	下京・高齢者お出かけお助けマップ事業【新規】	高齢者の孤立化の未然防止や団塊の世代の社会参加の促進を図るため、身近な高齢者の居場所づくりや支援事業を紹介する学区ごとの冊子を作成し、地域の高齢者に配布することで、地域の行事や取組への参加を促進します。	下京区内の身近な場所にあるお薦めのお出かけスポットや、高齢者が集い、交流し、ひと息つける場所(まちの縁側)などを紹介するために、民生委員や地域福祉を担う方々などの声を聞きながら学区ごとのマップにまとめ、高齢者が出かけるためのきっかけづくりとした。 また、高齢サポート(地域包括支援センター)や関係行政機関、もの忘れ相談医等を一覧表にまとめ、これらを合わせて「下京区シニアお出かけマップ」とした。 「下京区シニアお出かけマップ」 <内容> ①各学区界わい別マップ ②まちの縁側・社会資源一覧 <作成部数> ①23種類 各1,000部 ②1種類 1,000部	「下京区シニアお出かけマップ」は、地域をはじめ関係機関における様々な活動に利用いただいております。また、高齢者との交流に取り組む区内の4児童館からも活用したいとの申し出があるなど、好評をいただいている。 高齢者の社会参加だけでなく、今後、多世代交流の促進にも寄与していくと期待している。 高齢サポート(地域包括支援センター)等の関係機関には、各学区分のマップ(23種類)とまちの縁側・社会資源一覧(1種類)を送付。窓口にて配架するなど、活用されている。	支援課

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育む	「下京歩歩(ぼっぼ)塾」の推進	IT歩数計をつけたウォーキングで歩くことを習慣づけ、地域ぐるみの健康づくり活動を行い、区民の皆様の健康増進を図ります。塾生数がなかなか増加しない傾向にあるため、今年度も引き続き塾生による企画運営委員会が主体となって歩こう会等の行事を企画・実施するとともに、新たに食事調査の実施による食事アドバイスを行うなど、活動内容の充実を図ります。	<p>歩こう会やミニ講習会などの取組に加え、塾生間で話し合って新たな取組としての散歩会などを実施し、塾生の健康増進とともに自主的な運営ができるように取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・散歩会【新規】 9月から塾生が主体となって、毎月実施した。 参加者は、毎回10～15人程度 ・血圧及び体組成測定【新規】 ミニ講習会実施会場において血圧及び体組成測定を実施した。 ・食生活診断【新規】 過去1箇月間の食事内容について回答する質問票を用いて、京都医療栄養専門学校管理栄養士が各個人の食生活の傾向を分析し、今後の食生活に関するアドバイスを個別に行った。 ・歩こう会【継続】 [平成26年度 第1回] 日 時 6月14日(土) 午前10時～12時20分 場 所 国際会館～宝ヶ池～上賀茂神社～府立植物園 参加者 91人 [平成26年度 第2回] 日 時 11月29日(土) 午前10時～11時30分 場 所 五条公園～伏見稲荷大社 参加者 66人 ・ミニ講習会【継続】 健康運動指導士による運動や健康についての話と椅子に座ってできる簡単な体操を実施した。 開催数 7回 参加者 延べ56人 <p>(参考)塾生数 98人(4月当初)</p>	<p>運営委員会の中で塾生から活発な意見が出され、塾生が積極的に行事を企画・実施するようになった。 また、新たに実施した塾生主体の散歩会や塾生発案によるオリジナル缶バッジの作成・配布などにより、塾生同志の交流が一層深まってきている。 今後も、塾生が地域の方々に声をかけて歩こう会などへの参加を促すなど、塾生の主体的な取組を大切に、地域ぐるみでの健康づくりを進めていく。</p>	地域力推進室 福祉部 保健部

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育む	関係団体との連携による健康づくりの取組	下京・南医療連携協議会による健康まつりの継続開催や健康づくりボランティアグループとの連携による梅小路公園や下京老人福祉センターでのメタボビクスの普及活動を支援します。また、健康教室(出前教室)や食育セミナー等健康づくり事業を推進し、区民一人ひとりが健康づくりへの意欲を高めて、主体的に取り組むことができるよう、関係団体との連携を深めるとともに、誰もが日々の暮らしの中で健康づくりを実践できる環境整備に取り組めます。	<p>みなみ・下京健康まつりの開催 日 時 11月15日(土) 午後2時～5時 場 所 南区役所 参加者 218人 内 容 健康に関する講演会や骨密度・体脂肪測定、健康相談等 主 催 みなみ・下京健康まつり実行委員会</p> <p>健康づくりボランティアのメンバー育成(健康づくりサポーター養成講座)を実施</p> <p>【第1回】 日 時 5月23日(金) 午後1時15分～3時30分 場 所 下京区役所会議室 内 容 健康づくりに関する講話、実技・運動指導</p> <p>【第2回】 日 時 5月30日(金) 午後1時15分～3時30分 場 所 下京区役所会議室 内 容 先輩ボランティアとの交流会、歯科・栄養に関する講話</p> <p>健康づくりボランティアグループ(健康づくりサポーター)の活動への支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくりサポーター養成講座などの保健センター事業と連携することによる活動の場の提供 健康に関する知識や情報の提供 梅小路公園や下京老人福祉センター等での自主活動のさらなる定着、拡大に向けた支援 	「みなみ・下京健康まつり」は、下京区と南区で原則として毎年交互に開催。平成26年度は南区で開催された。 保健、医療、看護、介護等の関係者が集まり、健康まつりを実施することにより、互いのつながりが深まっている。 また、参加された区民が健康に関する講演を聞き、骨密度や体脂肪等の測定を受けることで、自分自身の健康状態を知り、日常生活を振り返り、健康づくりの意欲を高める機会となっている。	健康づくり推進課
基本方針 I-② 近所のお付き合いで安心を支える	ごみ屋敷対策【新規】	下京区内には、ごみを溜め込んで処理することができない状況となっている、いわゆる「ごみ屋敷」が複数存在しており、その周辺では、悪臭や害虫等により良好な生活環境が損なわれている状況や出火等の恐れがあります。そこで、地域の生活環境が著しく損なわれている状況を解消し、居住者等及び近隣住民の健康で安心・安全な生活を確保するため、下京区では、平成25年8月に立ち上げたごみ屋敷対策チームが今後とも地域の皆様や関係機関と協力連携して、その解決に向けた取組を進めます。	<p>平成25年8月に、地域の生活環境の改善を目指し、関係行政機関による対策組織を立ち上げ、平成27年3月までに5件のごみ屋敷の解消とその後の見守り活動に取り組んできました。</p> <p>なお、平成26年度は、11月に「京都市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例」が施行されたことを受け、関係行政機関による対策組織を下京区役所対策事務局会議へ改組し、不良な生活環境の解消に向けて取り組んだ。</p> <p>日 時 ①11月17日(月) 午後1時30分～3時 ②平成27年3月23日(月) 午前11時～正午</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ごみ屋敷」と判定した件数 1件 「ごみ屋敷ではない」と判定した件数 1件 継続調査件数 5件 	引き続き、不良な生活環境の解消に向けて、地域や関係機関と連携しながら、対象者に寄り添った福祉的支援を行うことを基本に、その解決に向けた取組を進めていく。	地域力推進室 福祉部 保健部

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅰー② 近所のお付き合いで 安心を支える	空き家を活用した地域力の向上	下京区には、約7,000戸の空き家があります。地元の皆様の協力を得て、これらの空き家を有効に活用し、地域の活動に積極的に参加していただける居住者等を増やすことで、地域力の向上を図ります。	良好なまちづくりを進めていくうえでの課題のひとつとして空き家問題を考えていただくよう各学区に働きかけたところ、修徳及び有隣学区が「京都市空き家流通促進事業」を活用し、地域で空き家問題に取り組まれることとなった。 また、両学区のモデル的な取組が他学区における取組の参考にも資するよう、平成27年3月5日(木)に開催した自治連・市協会長合同会議において両学区の取組状況を報告した。	他学区においても地域で空き家問題に取り組まれるよう、今後とも働きかけていく。	地域力推進室
	避難所運営マニュアルの作成支援	下京区には28箇所の避難所があります。大規模災害時に地域の皆様に役立つ避難所における運営マニュアルについて、平成25年度までに10箇所のマニュアル作成支援の取組を進めてきました。今年度は残る18箇所の避難所についても、区民の皆様が地域の実情に合わせた避難所開設やその運営に関する使いやすいマニュアルを作成できるよう支援します。	平成26年度末までに下京区内28箇所全ての避難所で「避難所運営マニュアル」の作成ができるよう、自主防災会への支援を行った結果、地域の実情に合った「避難所運営マニュアル」が作成できた。 ・平成24年度 3学区4箇所 有隣、光徳、菊浜 ・平成25年度 5学区6箇所 修徳、郁文、七条、醒泉、七条第三 ・平成26年度 15学区18箇所 開智、植柳、格致、淳風、大内、成徳、稚松、梅逕、永松、皆山、崇仁、西大路、豊園、尚徳、安寧	今後は、作成した避難所運営マニュアルの実用性について、各学区の防災訓練で検証し、その都度必要な見直しを図っていただくよう、地域と連携しながら取り組んでいく。	地域力推進室
	下京区安心安全ネット継続応援事業	この事業は4年目に入り、各学区の防犯推進委員、交通対策協議会、子ども見守り隊などの皆様による自主的、主体的な安心・安全なまちづくり活動が進んでいます。今年度も引き続き安心・安全なまちづくり活動に必要な旗等の購入費用に対する補助金を交付し、地域の安心・安全なまちづくりの支援を行います。	「下京区安心安全ネット継続応援事業補助金交付要綱」に基づき、地域にとって必要となる安心・安全なまちづくり活動の支援を行った。 ・独居老人世帯に緊急医療情報カード等をセットした「いのちのカプセル」の作成(有隣学区) ・安心安全啓発用横断幕・ポスターの作成、指導用チラシや活動ベストの作成(成徳学区) ・安心安全活動用ジャンパー等の作成(格致学区) ・見守り安心カードや啓発看板の作成(光徳学区) ・防火防犯絵画コンクール開催や町内の消火器点検の実施(梅逕学区) ・電柱幕や啓発ポスターの作成(七条第三学区)	安心・安全なまちづくりを目指し、今後とも各学区の取組を支援していく。	地域力推進室
	子ども家庭支援ネットワークの充実・強化	乳幼児のいる親子のふれあいと交流の場を提供する「下京たんぽぽ広場」の継続的な開催や孤立しやすい子育て家庭を主任児童委員が訪問する「下京赤ちゃんねつと」事業の充実(マスコットキャラクターを活用した事業周知や申込方法の見直し)など、子育てを支援する関係機関が実施する事業について、関係機関との連携を図ります。	・「下京たんぽぽ広場」を実施 日 時 ①6月11日(水)、②10月29日(水) いずれも午前10時30分～正午 場 所 元安寧小学校 参加者 ①171人(大人81人、子ども90人) ②174人(大人85人、子ども89人) 主 催 下京たんぽぽ広場実行委員会 ・「下京赤ちゃんねつと」事業を実施 子育てを支援する関係機関と連携し、主任児童委員による孤立防止のための訪問事業を実施した。 訪問実績 77件 主 催 下京赤ちゃんねつと実行委員会	『下京たんぽぽ広場』は毎回参加者から「本当に楽しかった」、「子どもが喜んでいて」と好評をいただいております。乳幼児親子のふれあいと交流の場として定着している。 『下京赤ちゃんねつと』事業は、訪問先の保護者から「地域の子育て関係施設等の情報が分かる」と喜ばれている。 また、支援が必要と思われる家庭に対して訪問などの働きかけを継続することにより、子育て家庭の孤立化や児童虐待等の未然防止に努めている。	地域力推進室 支援課 健康づくり推進課

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅰ-② 近所のお付き合いで 安心を支える	こころのふれあいネットワーク	地域住民団体や保健、福祉、医療等の関係機関により構成されている「こころのふれあいネットワーク」の事業を通じて、精神障害やこころの健康づくりに関する正しい知識の普及啓発を行います。今年度は、ネットワーク通信「下京こころほっとだより」等の発行、講演会や地域懇談会の開催を通じ、活動内容を広く区民の皆様へ情報発信します。	<p>「下京こころのふれあいネットワーク」が主催し、以下の取組を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こころの健康」をテーマとする講演会を開催 <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 <ul style="list-style-type: none"> 日時 9月10日(水) 午後2時～4時 場所 京都産業大学 むすびわざ館 テーマ こころはからだ ～こころとからだのつながり～ 参加者 44人 【第2回】 <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成27年2月13日(金) 午後2時～4時15分 場所 下京区役所会議室 テーマ こころの健康と睡眠 参加者 30人 ・地域に向いて実施する学習会及び施設見学を開催 <ul style="list-style-type: none"> 【第1回】 <ul style="list-style-type: none"> 日時 12月24日(水) 午前10時～11時30分 場所 下京区役所会議室 テーマ 高齢期のこころの健康 参加者 39人 (民生児童委員会障害者(児)福祉部会員) 【第2回】 <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成27年2月25日(水) 午後1時～3時30分 場所 ジョイント・ほっと、 下京こころのふれあい交流サロンふう テーマ こころの病がある母親への支援について学ぶ 参加者 9人(主任児童委員) ・福祉施設などに関するパネル展示を実施 <ul style="list-style-type: none"> 期間 平成27年2月9日(月)～20日(金) 場所 下京区役所1階 ・ネットワーク活動の紹介を行うネットワーク通信を発行 <ul style="list-style-type: none"> 発行時期 4月(第3号), 8月(第4号), 平成27年1月(第5号) 発行部数 計500部 	<p>「こころの健康」をテーマとする講演会では、区民だけではなく、関係機関からも多くの参加があり、参加者からは「病気について理解できた。」「話を聞いて安心した。」「お互いに支え合うことが大事。」「人のつながりの大切さを感じた」などの感想があり、好評であった。</p> <p>地域に向いて実施する学習会及び施設見学では、講話、福祉施設の見学、こころの病がある方からの体験談を聞き、参加者同士で意見交換することにより、こころの病についての理解が深まっている。</p> <p>パネル展やネットワーク通信の発行については、こころのふれあいネットワークの活動や下京区内の医療機関・福祉施設等について、広く区民の皆様を知っていただく機会になっている。</p> <p>また、ネットワーク通信の作成にあたり、平成26年度からはこころの病がある方にタイトルや挿絵を担当していただくなどの工夫を行っている。</p>	健康づくり 推進課

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
	権利擁護等高齢者福祉ネットワーク	地域包括支援センターを核とした高齢者福祉ネットワークの連携を強化し、高齢者の権利擁護や高齢者に関する問題や課題の解決に取り組みます。	<p>高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、地域包括支援センターが中心となって運営する「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」が「区民が主役のまちづくりサポート事業補助金」を活用して以下の事業を実施。区役所も同ネットワークに参画し、共に取り組んだ。(実施主体:「下京・高齢者権利擁護支援ネットワーク」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護講演会(いずれも区役所内で開催) 日 時 ①9月7日, ②3月7日 午前10時30分～11時30分 参加者 ①90人, ②60人 (計150人) ・高齢者なんでも相談会(いずれも区役所内で開催) 日 時 ①9月7日, ②3月7日 午前10時30分～午後4時 参加者 ①21組, ②23組 (計 44組) ・出張ミニ相談会 日 時 ③11月29日(午後2時～午後4時) ④ 2月20日(午前10時～午後1時) 場 所 ③京都南病院, ④稚松くつろぎひろば 参加者 ③4組, ④5組 (計 9組) <p>高齢者の権利擁護や高齢者に関する課題の解決に向け、毎月、定期的に地域包括支援センター及び関係機関と協議を実施し、情報共有及び連携を図っている。</p>	<p>講演会及び相談会については、毎回、参加者から「よく話を聞いてもらえた」、「解決の糸口が見いだせた」などと好評をいただいている。また、事業を通し、ネットワークを構成する関係機関や、司法書士・弁護士・税理士など様々な専門職の参加者間の交流が深まることによって、高齢者に係る支援の厚みが増すほか、円滑に連携できるようになってきている。平成26年度からは、より身近で相談を受けられるよう地域に出張型のミニ相談会を実施するなど、高齢者福祉の推進を図っている。</p>	支援課 健康づくり推進課

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針Ⅰ-② 近所のお付き合いで 安心を支える	極め細かな下京区防災訓練の実施	平成25年(1月～12月)の火災は21件(死者3名)で、前年と比較して10件増(死者3名増)となりました。今年度は、下京消防署や下京区自主防災会連絡会などと連携を図りながら地域の皆様による防火意識の高揚にポイントを置いた防災訓練を行い、火災のない安心安全なまちづくりを推進します。	<p>地域と防災関係機関との連携強化を図り、地域防災力アップにつなげるため、東方面と西方面に分けて下京区防災訓練を実施した。</p> <p>【主な訓練内容】 防災関係機関による初期初動措置訓練、避難訓練、給水訓練、消防分団による消火訓練 等</p> <p>・東方面防災訓練 日 時 平成27年3月15日(日) 午前9時～ 場 所 下京中学校成徳学舎 学 区 成徳、格致、豊園、開智、永松、修徳、有隣、尚徳、稚松、菊浜、植柳、皆山、崇仁 (13学区) 参加者 約300人</p> <p>・西方面防災訓練 日 時 11月2日(日) 午前9時～ 場 所 七条第三小学校 学 区 七条第三、郁文、醒泉、淳風、大内、光徳、七条、西大路、安寧、梅逕 (10学区) 参加者 約400人</p>	東方面は成徳学区、西方面は七条第三学区が中心となって災害発生に備えた防災訓練を実施し、約700人の区民の皆さんの参加があった。	地域力推進室
基本方針Ⅰ-③ 地域力を生かして安全を高める	下京区安心安全ネット継続応援事業<再掲>	この事業は4年目に入り、各学区の防犯推進委員、交通対策協議会、子ども見守り隊などの皆様による自主的、主体的な安心・安全なまちづくり活動が進んでいます。今年度も引き続き安心・安全なまちづくり活動に必要な旗等の購入費用に対する補助金を交付し、地域の安心・安全なまちづくりの支援を行います。	<p>「下京区安心安全ネット継続応援事業補助金交付要綱」に基づき、地域にとって必要となる安心・安全なまちづくり活動の支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居老人世帯に緊急医療情報カード等をセットした「いのちのカプセル」の作成(有隣学区) ・安心安全啓発用横断幕・ポスターの作成、指導用チラシや活動ベストの作成(成徳学区) ・安心安全活動用ジャンバー等の作成(格致学区) ・見守り安心カードや啓発看板の作成(光徳学区) ・防火防犯絵画コンクール開催や町内の消火器点検の実施(梅逕学区) ・電柱幕や啓発ポスターの作成(七条第三学区) 	安心・安全なまちづくりを目指し、今後とも各学区の取組を支援していく。	地域力推進室
	安心で環境にやさしい夜間門灯点灯運動	夜間の通りを明るくする門灯点灯運動への区民の皆様の参加を促し、安心安全のまちづくりを目指すとともに、環境にやさしいLEDの啓発・普及を図ります。	<p>本事業については、平成24年度から継続して取組を進め、平成25年度末までに7学区において運動が展開されている。</p> <p>平成26年度については、門灯点灯の更なる普及を目的として、下京警察署、下京防犯推進委員協議会、下京区役所連名によるポスター(700部)を作成し、各学区へ働きかけを行った。また、安寧学区においては、自治会館のLED門灯設置に係る経費補助申請とともに、上記ポスターを活用した門灯点灯に係る啓発が展開された。</p>	平成25年6月に下京区役所と下京警察署が地域の課題を協議する「下京区安全・安心まちづくり連絡会議」を設置し、区内の安心・安全なまちづくりの推進を進めている。	地域力推進室

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等

テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)

基本方針Ⅱ-① まちの活力を高める	新たな賑わいを創出する下京区西部エリアの活性化	京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする下京区西部エリアは、京都水族館をはじめ、すざくゆめひろばや市電ひろばの開業もあり、活気や賑わいが増えています。また、京の食文化の拠点である中央卸売第一市場については、京の食文化の継承と発展に向けた市場づくりを進めています。更に平成28年春には、京都鉄道博物館の開されています。今後とも、これらの集客施設や地域資源の活用などにより、エリアの魅力を一層高め、市民や観光客等が多数訪れる京都を代表する賑わいのあるエリアとなるよう魅力豊かなまちづくりを進めます。	<p>平成27年3月5日(木)に開催した自治連・市協会長合同会議において以下の内容を周知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月に、地元の皆様がJR西日本に対してJR嵯峨野線京都駅～丹波口駅間の新駅設置の要望書を提出したことについて ・平成27年2月に、JR西日本と京都市がJR嵯峨野線京都駅～丹波口駅間の新駅設置に関する合意書を締結したことについて ・京都・梅小路地区活性化実施検討会(京都・梅小路みんながつながるプロジェクト)の設立及び取組概要について ・「京都駅西部エリア活性化将来構想」の策定に係るパブリックコメントの募集について <p>京都駅から梅小路公園のエリアの活性化に地域と連携して取り組むため、平成27年2月にJR西日本を中心とした13の企業、団体により「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」が発足(平成27年9月時点 計23団体)。区役所もオブザーバーとして地域の声を伝え、よりよい活動となるようサポートを行った。</p>	今後とも、地域や「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」と連携し、賑わいのあるまちづくり等に向けて、共に取り組んでいく。	地域力推進室
	京都駅東地区エリアのまちづくり	京都駅東地区エリアでは、「創造・交流・賑わい」のまちを目指す「崇仁地区将来ビジョン」の実現に向け取組が進められています。そうした中、平成26年1月に京都市立芸術大学を崇仁地区へ移転整備する方針が示され、今後は、芸大を核としたエリアマネジメントの取組を支援し、京都の玄関口としての魅力あるまちづくりを進めます。	「京都市立芸術大学移転整備構想」を踏まえ、9月に発足した「京都市立芸術大学を核としたエリアマネジメント」準備組織の企画推進会議に定期的に参加して、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう、取り組んできた。また、崇仁地区等の東部エリアを多くの方々にご存知いただこうと、高瀬川開削400周年事業としてウォークラリーの開催や「洛市楽座 京の名店グルメフェア」への協力などを行った。	—	地域力推進室
	民間主導と区民参加による「下京・京都駅前サマーフェスタ2014」の支援	京都駅ビル開発(株)や東西両本願寺とともに、地元の学区の皆様、小中学校、各種団体等の積極的な参加のもと、下京区の新しい夏の風物詩である夏祭りの事業と一緒に進め、まちの賑わいづくりと活性化を進めます。	<p>京都駅ビル開発(株)、西本願寺、東本願寺、下京区役所が連携して「下京・京都駅前サマーフェスタ」を開催した。</p> <p>日 時 8月2日(日) 午前10時～午後5時 場 所 京都駅前広場、西本願寺、東本願寺 参加者 約17,600人 主 催 下京・京都駅前サマーフェスタ実行委員会</p> <p><駅前広場> オープニング、KBS京都ラジオ生放送、地域連携ステージ <東本願寺> 阿弥陀堂修復現場の見学、竹内栖鳳作品特別公開、ツリークライミング <西本願寺> 飛雲閣特別公開、ミニSL、物販コーナー、JR子ども制服撮影会 <その他> 3会場をつなぐスタンプラリーの開催</p>	開催当日は雨天であったものの、多数の参加があり、好評を博した。特に、東本願寺前の緑地帯で初めて実施したツリークライミングは子どもたちから好評であった。	地域力推進室

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 Ⅱ－② まちの個性を生かし て魅力を高める	菊浜学区のまちづくり	高瀬川の川筋を花で飾る取組や地域活性化に向けたまちづくりに対する話し合いの場づくりへの支援などを通して、住民の皆様が地域への愛着を深めるとともに、地域全体でまちづくりに取り組む機運づくりを行います。	菊浜学区では、少子高齢化の進展をはじめ、空き家やゲストハウスの増加など学区環境の変化を受け、将来に向けてまちづくりを考えていく機運が高まり、区役所からの働きかけによって平成27年1月25日に「菊浜まちづくり推進委員会」を設立。委員の選出や今後の活動方針について協議した。	今後、意見交換会の開催やまちづくりマップの作成など、引き続き地域全体でまちづくりに取り組んでいく。	地域力推進室
	歩いて知る、下京の魅力再発見	地域の文化や歴史、隠れた名所等を紹介する取組や地域資源をつなぐスタンプラリーの実施等により、歩いて下京区の魅力を再発見できる取組を行います。	「高瀬川散歩スタンプラリー」を開催(中京区と共同) 中京・下京区民の多くの方々に高瀬川周辺を歩いていただくことで、区民相互の交流を深めるとともに、400年の歴史の中で受け継がれてきた高瀬川の魅力を見直し、再発見していただくことを目的に実施した。 日 時 平成27年3月14日(土) 午前9時30分～午後1時 参加者 349人 ・スタンプポイント 銅駝、立誠、永松、菊浜、崇仁の各学区にそれぞれ1箇所設置 ・見どころポイント 島津製作所創業記念資料館、酢屋龍馬記念館、京都市学校歴史博物館、涉成園、柳原銀行記念資料館 ・スタート/ゴール <[川上(中京区)スタート]> 日本銀行京都駅前支店前から平成の京町家モデル住宅展示場まで <[川下(下京区)スタート]> 平成の京町家モデル住宅展示場から日本銀行京都駅前支店前まで	参加者からは「雨でしたが、皆でワイワイと楽しめました」、「無料でいろいろな記念館を見学でき、お得感満載でした」等の感想があり、好評であった。	地域力推進室

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)

基本方針 Ⅲ－① エゴを捨ててエコ活動 を行う	「エコ学区」事業の推進【新規】	京都市では、エコ活動が地域に浸透し、環境にやさしいライフスタイルへの転換と地域や家庭から排出される二酸化炭素が削減することを目指し、学区ごとに地域ぐるみでエコ活動を推進する旨のエコ学区宣言をしていただき、エコ学区に取り組んでいただくこととしています。下京区では、全23学区のうち既に19学区においてエコ学区宣言をしていただいております。残る4学区においても「DO YOU KYO TO? (環境にいいことしていますか。)」を合言葉に、エコ活動の輪が広がるよう支援します。	全学区が「エコ学区宣言」をして「エコ学区」となり、以下の取組を行った。 ・学習会実施学区 西大路、稚松、菊浜、安寧、皆山、七条第三、七条 ・支援物品活用学区 西大路、修徳、光徳、稚松、梅逕、崇仁、開智、大内、豊園、郁文、淳風、菊浜、安寧、尚徳、皆山、七条第三、醒泉、格致、永松、植柳、成徳	「京都環境賞エコ学区部門」で、郁文学区が「エコ学区推進賞」を受賞した。 淳風学区では、災害に備えながらエコに暮らすコツについて学ぶチャレンジプログラムを実施した。 豊園学区では、使わなくなった衣類を素敵なコサージュなどに作り変えるワークショップや、衣類の再利用の意義などについて学ぶチャレンジプログラムを実施した。	地域力推進室
----------------------------------	-----------------	---	--	---	--------

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
基本方針 Ⅲ－② 担い手の育ちを支える	下京地域力アップ応援事業	地域の支え合いやつながりを強め、コミュニティの活性化を図るため、自治会への加入促進を行うとともに、各地域が取り組まれているまちづくり活動の先進事例等の情報提供等を行うなどの支援を行います。	<p>「地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度」により、自治会への加入促進等の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆山連合会 防火訓練と町内会交流会の合同事業の実施 ・尚徳横諏訪町 大型分譲マンションとの関係づくり事業の実施 ・開智自治連合会 自治連合会活動等を紹介する加入啓発チラシを作成 ・修徳グランドムール管理組合 町内会加入啓発を含めた、マンションの防災マニュアルを作成 ・有隣まちづくり委員会 地域に愛着をもってもらうため、地域資源を紹介したマップを作成 <p>「地域の支え合いを応援する標語」入選作を活用した啓発 平成25年度に募集した「標語」の入選作を活用し（「下京のひびき」掲載、市バス後部に掲示等）、コミュニティ活性化に向けた啓発を行った。</p> <p>自治連・市協会長との懇談会 9月5日（金）、下京区役所会議室で「地域コミュニティ」をテーマにワークショップ形式で意見交換を行うと共に、町内会加入に向けた取組事例について、情報提供を行った。</p>	<p>地域の課題を協議するため毎年実施している自治連・市協会長との懇談会では、職員が制作して演じる「寸劇」を初めて実施。分かりやすく課題の提示を行い、ワークショップを円滑に進めることができた。参加者からも、「自治会加入の勧め方、大切さについて学ぶことができた」と好評であった。</p> <p>引き続き、自治会等に地域活動支援制度を利用していただくなど、町内会加入促進に向けた支援を行っていく。</p>	地域力推進室
	下京・町衆倶楽部	下京を愛する様々な立場の方々が集い、下京の魅力溢れるまちづくりについて自由な発想で話し合い、自ら実践する場を引き続き提供するとともに、まちづくり活動に取り組まれる方々との交流会の開催やネットワークづくりなどの支援を行います。	<p>下京・町衆倶楽部のチーム「下京〇（マル）つなぎ屋」が、拠点である元安寧小学校の教室で毎月1回「下京茶屋」を開催。魅力あふれる下京区のまちづくり等について自由な発想で話し合った。</p> <p>また、「下京ふれ愛ひろば」や「京の七夕」、「梅小路フェス！ Do You KYOTO？」等にブースを出展し、自転車タクシーや区役所屋上緑化などの活動内容を多くの方々に周知した。</p>	—	地域力推進室

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等

2 区民の皆様が地域力を生かした新たなまちづくりのために

地域が持つ底力を引き出し、区民の皆様と力を合わせてまちづくりを進めます。	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	区民の皆様等の自由でユニークな発想によるまちづくりや、学生や子どもたちが楽しみながら行うまちづくり活動等を支援します。	<p>区民の皆様等が地域力を活かして主体的に行う、下京区をより暮らしやすく、安全で、魅力的なまちにするための活動を支援するため、下京区「区民が主役のまちづくり」サポート事業補助金を交付した。</p> <p>募集期間 4月14日(月)～5月30日(金) 申請団体数 38団体 交付団体数 29団体 審査会日時 6月19日(木)午後3時～7時, 6月25日(水)午後2時～6時10分</p> <p>予算額 5,700千円 決算額 5,502千円</p> <p>【参考】 平成24年度予算額 3,200千円 平成25年度予算額 5,300千円</p>	申請数,採択数共に年々増え続けており,本事業を契機とした区民,市民の皆様による下京区内のまちづくりが進んでいる。 なお,平成26年度の予算額と決算額の差の198千円は,交付団体の事業内容変更に伴う不用額である。	地域力推進室
	「下京区活性化機運づくり事業」の実施	地域の魅力を発掘し,発信する取組や地域の交流を図るイベント等を開催し,区民の皆様が地域活性化に向けた機運づくりを行います。	<p>・京都市立芸術大学の移転が予定されている崇仁地域で,まちづくりの機運を高めることを目指し,京の名店の味を気軽に楽しんでいただける以下の事業を支援した。 「洛市楽座 京の名店グルメフェア」 日時 4月20日(日) 午前11時～午後3時 場所 平成の京町家モデル住宅展示場 参加者 約900人 主催 グルメフェア実行委員会</p> <p>・「下京・京都駅前サマーフェスタ」の開催<再掲></p> <p>・高瀬川の魅力を広く周知するために,中京区と下京区の高瀬川保勝会を中心として「高瀬川開削400周年記念事業実行委員会」が立ち上がり,同実行委員会が8月3日(日)のオープニング式典を幕開けとして実施した「高瀬川開削400周年記念事業」を支援した。</p> <p>・子育てにおける孤立や不安をなくし,地域ぐるみの「子育ての輪」を広げるため,「子ども育みサポーター」と連携し,以下の事業を実施した。 「親と子がともに育む 下京つながりフェスタ」 日時 平成27年2月28日(土) 午前10時～午後3時 場所 下京青少年活動センター 参加者 約300人 主催 下京子育てつながろう実行委員会</p> <p>・高瀬川散策スタンプラリーの開催<再掲></p>	—	地域力推進室

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
地域が持つ底力を引き出し、区民の皆様と力を合わせてまちづくりを進めます。	学区カルテの作成と活用	各学区の様々な統計情報や取組等の収集を通して、経年変化を踏まえた地域の動向データを分析し、各学区の特性を把握することにより、地域活動の活性化支援に広く活用します。	学区の特性を把握し、今後のまちづくりに役立てていただくため、9月5日(金)に開催した自治連・市協会長との懇談会において人口や世帯数など各学区の個別データを提供した。 各学区においては、地域活動を展開するうえでの課題となっている少子化や高齢化について、客観的にデータでその実情を把握するとともに、防災・防犯、夏祭りや体育祭等の地域行事のあり方、また、加入率が低下している町内会の加入促進に向けた取組手法を検討していただくための一助になった。	今後とも、各学区の個別データをいかり、地域活動の活性化支援に広く活用していく。	地域力推進室
	「下京区民まちづくり会議」の開催	様々な分野でまちづくりに関わる方々から、下京区基本計画の推進等について広く御意見をいただき、まちづくりに生かします。	下京区基本計画の推進等について広くご意見をいただくため、以下のとおり会議を開催した。 日 時 6月23日(月) 午後2時～3時 場 所 下京区役所会議室 参加者 46人(学区市政協力委員連絡協議会会長、自治連合会会長、各種団体の長及び事業者等) 議 題 役員選出及び会則改正 区民まちづくり会議事業収支報告 平成25年度事業報告 平成26年度事業計画(案)	「まずやること」をはじめ、引き続き下京区基本計画の進捗管理を行っていく。	地域力推進室
	ふるさと納税寄付金制度	ふるさと納税寄付金制度によっていただいた貴重な財源を、御寄付をいただいた方の意向も踏まえ、地域の皆様とともに下京区のまちづくりのために有効に活用します。	・平成25年度のふるさと納税寄付金を活用して「絵本から広がる笑顔の輪」を実施<再掲> ・平成26年度の寄付金については、平成27年度「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施に係る財源に活用することとした。	引き続き、下京区を応援したい、愛し続けたいという方が増えるよう、情報提供や寄付の用途についてお知らせするなどの取り組みを進めていく。	地域力推進室

3 一層信頼される区役所づくりのために

公務員倫理及び法令遵守の徹底と市民サービスの向上	下京区職員は、区政への市民の信頼を得るため、市民から負託を受けた公務員としてのより高い規範意識、職業倫理を保持するとともに、法令を遵守し、創造的かつ主体的に職務を遂行するよう徹底します。また、区民の皆様の目線に立った満足度の高い行政サービスの提供に向けて取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ・飲酒に伴う公務外非行の撲滅や個人情報取り扱いなどについてのコンプライアンス研修や、新しく配属された職員に対する業務研修、市民対応サービス研修など様々な研修を実施し、職員の規範意識や市民対応サービスの向上等に取り組んだ。(地域力推進室) ・交付窓口用の番号表示モニターの設置や窓口レイアウトの変更を始め、お客様に分かりやすい窓口となるよう工夫するとともに、ソフト面でも親切・丁寧な対応を心がけ、窓口アンケートにおいても、前年を上回る評価を得た。(区民部) ・市民の皆様からの問い合わせに対し、既存・新設制度の内容を正しく理解していただけるよう、できる限り分かりやすく丁寧な説明を行うよう努めるとともに、職員一人ひとりが、規範意識を持ち、法律や条例・規則などの規定を確認しながら、事務執行にあたった。(福祉部) ・特定疾患の制度改正に伴う10月以降の繁忙期を前に、来庁者が利用しやすいようにカウンターの配置を変更するとともに、業務を円滑に行うための執務室の一斉整理を行った。(保健部) 	—	地域力推進室 区民部 福祉部 保健部
--------------------------	--	--	---	-----------------------------

基本方針・重点方針	26年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
すべての職員が高い倫理観を持ち、法令に従い、これを確実に守るという基本を徹底することはもとより、創造的かつ主体的に職務を遂行し、来庁される皆様(お客様)に満足いただける、より快適な行政サービスを提供する また、全職員が高い防災意識を持ち、災害時に迅速に行動する	区役所庁内プロジェクトチームの取組の充実(訪れなくなる庁舎部会、市民応対向上部会、役に立つ情報発信部会)	区民の皆様が親しまれ、気軽に利用していただける区役所づくりのために、職員有志によるプロジェクトチームが改善や工夫が必要な点について話し合っています。庁舎内階段の踊り場壁面に区内の幼稚園児や保育園児の皆さん等による絵画作品などを展示するシモンズギャラリーを引き続き開催するとともに、保健センター側の階段スペースの有効活用などに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 市民応対向上部会 日時 10月30日(木) 午後2時～3時 議題 窓口アンケートの集計結果分析 訪れなくなる庁舎部会 日時 11月12日(水) 午前9時～10時 議題 保健センター庁舎改善の取組内容、しもんSギャラリー 役に立つ情報発信部会 平成26年度は実質的な活動ができなかった。 	市民応対向上部会が実施した窓口アンケートの集計結果からは、来庁者の皆様は概ね窓口サービスに満足していただいているものの、職員に笑顔が不足していると感じておられる方が多いということが分かった。訪れなくなる庁舎部会では、階段に地域の子どもたちが描いた絵を飾るなど、明るく楽しい庁舎にしていこうといった意見が出された。役に立つ情報発信部会は、今後取り組んでいく。	地域力推進室
	市税等の適正な事務推進と徴収率の向上	行政サービスの財源となる市税や保険料等について、適正な事務の推進に努め、皆様から公平かつ確実に納付いただくことで、みんなで支える社会を築きます。	<ul style="list-style-type: none"> 未申告者や給与支払報告書未提出者の所得把握に努め、区外課税対象者については、開廃業の調査、営業箇所の現地調査等を行い、適正な課税の推進に努めた。(市民税課) 適正かつ公平な課税を実現するために、より一層の課税捕捉、適正化に努めた。平成26年度の取組としては、住宅用地認定の見直し調査をおこない、約1,100筆の現地調査を実施し、適正な事務の推進と課税捕捉に努めた。(固定資産税課) 下京区滞納整理計画に基づき、滞納整理強化期間を設定するなど効果的、効率的に推進した結果、26年度の下京区市税徴収率は過去最高の98.1%となり、前年度徴収率(97.8%)を0.3ポイント上回ることができた。(納税課) 国民健康保険料徴収率93.20% (前年比△0.47%) (保険年金課) 介護保険料徴収率(現年度、普通徴収分のみ) 89.05% (対前年比+0.15%) (福祉介護課) 保育料徴収率99.78% (前年比+0.31%) (支援課) 	市民税の課税業務等については11月から行財政局に移管され、その他区役所で所管していた税関係業務についても平成27年4月をもって全て行財政局へ移管された。なお、区役所には税務センターを設置し、納税相談等の業務を行っている。	税関係課 保険年金課 福祉介護課 支援課
	防災訓練・研修の充実	大規模地震等の緊急時に、全職員が機敏に対応できるよう、職員参集訓練を含めた防災訓練などを実施するとともに、下京区自主防災会連絡会と連携を図り、東日本大震災の復旧支援で京都市から派遣された職員による実体験に基づいた講演会を開催するなどの防災研修を行います。	<p>平成27年1月16日(金)に、大地震の発生を想定した初期初動訓練を実施し、各所属において職員自らの身を守るための安全行動、職員相互の安否確認、被害の状況確認等を確認するとともに、下京区の災害対策本部の体制を強化する訓練を実施し、区役所における災害対応能力の向上を図った。</p> <p>また、各所属で、危機管理クロスロードを使った防災研修を実施した。</p>	東日本大震災の復旧支援で京都市から派遣された職員による実体験に基づいた講演会は未実施であるが、平成27年度には、宮城県塩竈市に対して実際に避難所の運営にあたった職員の派遣を依頼し、避難所運営やいざという時の対応について勉強する研修会を下京区社協と連携して開催する予定となっている。	地域力推進室